

定期報告書に添付する書類（記入例）

1 農場の平面図

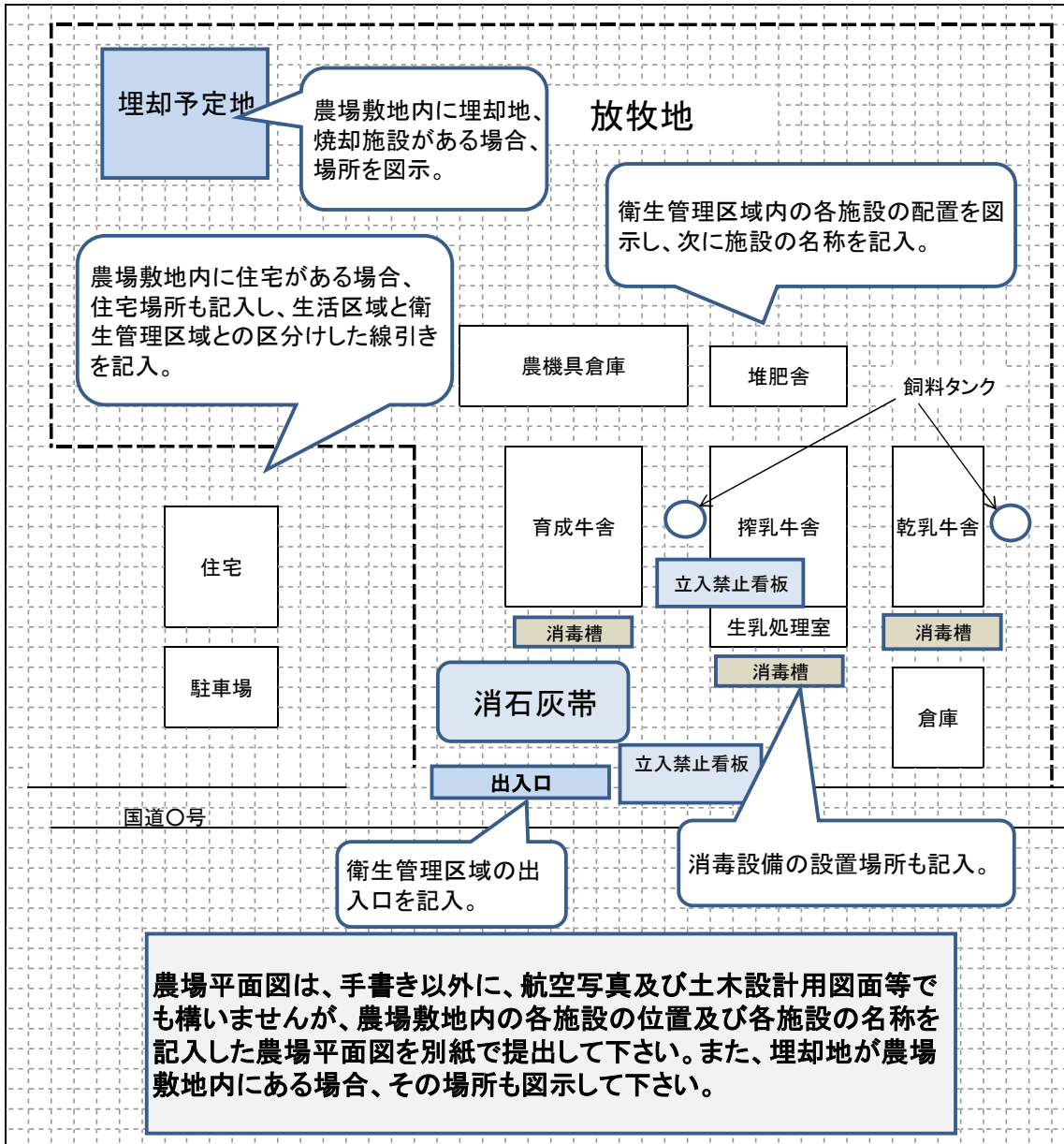
農場名がない場合、家畜の所有者を記入。

農場の名称

北海道 太郎

農場の所在地

〇〇市〇〇町×番地



記載事項

- ①衛生管理区域内の各施設の配置場所、名称（畜舎、立入禁止看板、飼料タンク、飼料倉庫、生乳処理室、たい肥化施設、農機具庫、パドック等）及び出入口と近辺の見取り図を記載。
 - ②農場敷地内に住居等の生活区域が存在する場合、生活区域と衛生管理区域を区分けした線引き。
 - ③消毒設備の設置場所（衛生管理区域、畜舎（ふ卵舎）の出入口に設置した消毒設備）。
 - ④農場敷地内に埋却用地がある場合、その場所も記入。
- ※別紙での提出の場合、欄内に「別添」と記載。様式は自由ですが、上記の①～④までの事項については図面に記載。

2 必要のない者を衛生管理区域に立ち入らせないようにするとともに、衛生管理区域に立ち上つた者が飼養する家畜に接触する機会を最小限とするために講じた措置の内容

○措置の内容について口にしを記入、複数回答可

◆衛生管理区域に立ち入らせない方法

- 柵・杭 プランター ロープ テープ 石灰散布 カラーコーン
 看板の設置 その他 (_____ その他は、記載項目以外について記入。)

◆衛生管理区域に立ち上つた者が家畜に接触させない方法

- 畜舎出入口に看板の設置 畜舎の施錠 監視カメラ
 その他 (_____)

3 衛生管理区域及び畜舎等の出入口付近に設置した特定疾病又は監視伝染病の発生を予防するために必要な消毒をする設備の種類

○消毒設備について口にしを記入、複数回答可

◆衛生管理区域の出入口の車両消毒

- 消石灰帯 消毒薬噴霧器 車両用消毒槽 車両用消毒ゲート 消毒マット
 その他 (_____)

◆畜舎等の出入口の人の消毒

- 踏込消毒槽 消毒薬噴霧器 消毒マット 手指消毒スプレー
 その他 (_____)

豚については、種豚、母豚、育成豚、肥育豚の飼養密度を記入。肉用鶏については、1坪あたりの羽数を記入

4 畜舎ごとの家畜の飼養密度

○各畜舎の家畜の種類ごとに1頭(羽)あたりの面積を記入。肉用鶏については、1坪あたりの羽数を記入。

畜舎(名称、区分等)	1頭(羽)あたりの面積又は1坪あたりの羽数	畜舎(名称、区分等)	1頭(羽)あたりの面積又は1坪あたりの羽数
搾乳牛舎	〇〇㎡/頭(羽)	種豚	〇〇㎡/頭(羽)
乾乳牛舎	〇〇㎡/頭(羽)	母豚	〇〇㎡/頭(羽)
育成牛舎	〇〇㎡/頭(羽)	育成豚	〇〇㎡/頭(羽)
		肥育豚	〇〇㎡/頭(羽)
		採卵鶏	〇〇㎡/頭(羽)
		肉用鶏	〇〇羽/坪

畜舎ごとに、家畜の1頭あたりの面積を記入。

畜舎ごとの家畜の飼養密度は「家畜を収容している最小単位の区画の床面積÷収容頭数」により算出することを基本とする。
 ○区画ごとの床面積や収容頭数が同一でない場合には、「農場内の平均床面積÷平均収容頭数」により算出する。
 ○同一農場で種豚、母豚、育成豚、肥育豚を飼養している場合には、それぞれについて算出する。

口蹄疫や豚熱、高病原性鳥インフルエンザ等の家畜伝染病が発生した場合、病原体のまん延防止のため、原則、死体は農場から出さずに埋却します。埋却する土地がない場合、公有地等への埋却について、関係者等から承諾を得ることが必要になります。化製場への搬出についても、事前に関係者から承諾を得る必要があります。

5 埋却の用に供する土地の確保の状況（馬のみの所有者は記入不要）

○次の該当する口にレの記入及び必要事項の記入

埋却地を確保 焼却・化製処理を検討（7に進む） 確保していない（7に進む）

↓
(①に進む)

- ① 埋却用地の所在地 〇〇市〇〇町××番地
- ② 埋却用地の面積 〇〇〇 m²

農場内に埋却地がある場合は、「農場内」と記入し、農場平面図にも記入。
 農場から離れている場合、距離数を記入。
- ③ 農場から埋却地までの距離 _____
- ④ 埋却用地の利用状況 放牧地 採草地 畑 その他（ _____ ）
- ⑤ 埋却地の所有者 本人（⑧に進む） 本人以外（⑥に進む）
- ⑥ 土地所有者氏名又は名称 _____

土地所有者が本人以外は記入。
- ⑦ 土地利用に関する契約 有（契約内容：_____）

契約内容については、「貸借契約を成立」、「契約書は交わしていないが承諾を得ている」等の概要を記入。

無
- ⑧ 埋却用地の近隣住民その他の関係者への埋却の実施に関する説明の有無 有 無
- ⑨ ⑧の説明に対する当該関係者の承諾の有無 有 無

埋却するにあたり、⑧及び⑨以外の対応を記入。
- ⑩ その他埋却の的確かつ迅速な実施のための参考となるべき事項（近隣住民（町内会）以外の住民にも説明 _____）

6 焼却又は化製のための準備措置（馬のみの所有者は記入不要）

○次の該当する口にレの記入及び必要事項の記入

- ① 焼却施設又は化製場の名称及び所在地
 - ・名称 〇〇化製処理場
 - ・所在地 〇〇市〇〇町××番地

埋却以外に焼却又は化製を検討している場合は、記入。
- ② 農場から焼却施設又は化製場までの距離 〇〇km
- ③ 焼却施設又は化製場の近隣住民その他の関係者への焼却又は化製の実施に関する説明の有無 有 無 その他（平常時、鶏の死体等は自社内で処理しているため不要 _____）
- ④ ③の説明に対する当該関係者の承諾の有無 有 無 その他（③と同様 _____）

7 埋却の用に供する土地、焼却施設又は化製場を確保していない場合にあつては、これらを確保するための取組の状況（馬のみの所有者は記入不要）

○次の該当する口にレの記入及び必要事項の記入

- 土地を探している 購入手続き中 市役所又は役場等に相談 地権者と交渉中 その他（ _____ ）
- 埋却地等を確保していない場合は、記入。

8 担当の獣医師の氏名及び所属又は担当の診療施設の名称

- ① 担当獣医師氏名 北海道 太郎 ①もしくは②のどちらかを記入。
 担当獣医師所属 北海道大動物コンサルタント 連絡先 ××-×××
- ② 担当診療施設名 北海道〇〇診療所 連絡先 ××-×××

※管理獣医師がいる場合については、①の担当獣医師氏名及び担当獣医師所属を記入。家畜診療所に家畜の診療を依頼している場合は、②の診療施設名を記入。

※以下については、大規模所有者のみ対象

9 大規模所有者にあつては、従業員が特定症状を確認した場合に家畜保健衛生所へ直ちに通報することを規定したものの写し（馬のみの所有者は記入不要）

「従業員が特定症状を確認した場合に家畜保健衛生所へに通報することを規定した書面」の写しを報告書に添付。

◆大規模所有者とは、次の頭羽数以上の家畜の所有者をいいます。

○牛の場合

区分	頭数	月齢	品種
成牛	200頭以上	満17月以上	乳用種の雄牛・交雑種の牛
		満24月以上	乳用種の雄牛・交雑種の牛以外の牛
育成	3,000頭以上	満4月～17月未満	乳用種の雄牛・交雑種の牛
		満4月～24月未満	乳用種の雄牛・交雑種の牛以外の牛

○水牛・馬の場合 200頭以上

○鹿・めん羊・山羊・豚・いのししの場合 3,000頭以上

○鶏・うずらの場合 10万羽以上

○あひる・きじ・だちょう・ほろほろ鳥・七面鳥の場合 1万羽以上